

| | | | | |
|---|--|-----------------|---------|-------|
| 年度 2009 学期 後期 | 曜日・校時 | 月・3 | 必修選択 選択 | 単位数 2 |
| 授業科目/(英語名) | コンピュータ入門 Introduction to Computer Systems | | | |
| 対象年次 1・2 年次 | 講義形態 講義 | 教室 全学教育授業時間割に記載 | | |
| 対象学生(クラス等) | 全学部 | 科目分類 情報処理科目 | | |
| 担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:黒川不二雄/Eメールアドレス: fkurokaw@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室:工学部 2号館 2階 E-207/TEL: /オフィスアワー:月曜 4校時 | | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:必修科目の「情報処理入門」では、情報メディア基盤センターの端末を利用出来るようになり、さらに、専門課程の学習にも役立てられるように、技術的な基礎および原理の概要を習得するようになっている。本科目は、その次のステップとして、単にコンピュータを使えるだけでなく、目の前にあるコンピュータの仕組みを理解した上で、ソフトウェアの有効な利用が出来るようになることを目標としている。さらに、専門課程の学習にも役立てられるように、応用が利くような技術的な基盤の修得も視野においている。これからコンピュータに慣れ親しんで行きたい諸君には是非聴講して欲しい。 授業方法:予習レポート提出を課しながら講義形式で授業を行うが、学生の参加を促すために質問を多く取り入れた対話型とする。板書は思考の発展性を考えてマインドマップを用いる。講義は、内容に応じて教室あるいは演習室で行うので、80名が受入上限である。 授業到達目標:コンピュータの計算やネットワーク通信、セキュリティの仕組みを理解した上で、ソフトウェアの利用が出来る。 | | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) [情報とコンピューティング] 第 1 回 コンピュータの歴史 第 2 回 コンピュータの仕組み (1) 第 3 回 コンピュータの仕組み (2) 第 4 回 ソフトウェアシステムと命令語の構成 第 5 回 情報のデジタル化 (1) 第 6 回 情報のデジタル化 (2) 第 7 回 ハードウェアの基礎 第 8 回 プログラミングの基礎 [情報とコミュニケーション] 第 9 回 ネットワークの仕組み (1) 第 10 回 ネットワークの仕組み (2) 第 11 回 電子メール 第 12 回 WWWと検索エンジン 第 13 回 知的財産と情報倫理 第 14 回 セキュリティと情報倫理 第 15 回 全授業の総括(試験含む) | | | | |
| キーワード | コンピュータ, ネットワーク, 電子メール, 情報倫理, セキュリティ | | | |
| 教科書・教材・参考書 | 適宜指示する。 | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験 80 点満点, レポート 10 点満点, 授業への積極的参加状況 10 点満点の合計が 60 点以上を合格とするが, 定期試験で 60%(48 点)以上をとる必要がある。 | | | |
| 受講要件(履修条件) | (履修上の注意:原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし, やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は, 個別指導を行う。 | | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | | | | |
| 備考(準備学習等) | | | | |